

アルコール依存症による肝障害 にセリンクロ

大塚製薬株式会社は、アルコール依存症患者における飲酒量を低減する治療薬「セリンクロ (R)錠 10mg」（一般名：ナルメフェン塩酸塩水和物）の製造販売承認を取得。日本国内では、抗酒薬や断酒維持を目的とした断酒補助剤がすでに販売されていますが、アルコール依存症患者が飲酒量を減らしていく過程を補助する薬剤はありません。欧州では、2013年からルンドベック社により承認・販売されています。



セリンクロは、飲酒の1～2時間前に服用することで、中枢神経系に広く存在するオピオイド受容体調節作用を介して飲酒欲求を抑え、アルコール依存症患者の飲酒量を低減する薬剤。効果・効能に関する使用上の注意として、服薬遵守の上、飲酒量の低減を目的とした心理社会的治療と併用することなどが定められています。



最終的な治療目標は原則的に断酒の達成とその継続としたうえで、「飲酒量低減治療は、断酒に導くための中間的ステップあるいは治療目標のひとつ」として位置づけられています。